

# Economic Indicators

発表日: 2024年5月10日(金)

## 主要経済指標予定(2024年5月13日~5月17日)

(株)第一生命経済研究所 経済調査部  
日本経済短期チーム (TEL: 03-5221-4525)

(5月13日~5月17日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
5月13日 (月)	8:50 4月マネーストック				
	M2(前年比)	+2.5%	+2.5%	+2.4%~+2.6%	+2.5%
	M3(前年比)	+1.8%	+1.8%	+1.7%~+2.2%	+1.8%
	広義流動性(前年比)	+2.1%	+2.1%	+2.0%~+2.2%	+2.1%
5月14日 (火)	8:50 4月企業物価指数				
	(前月比)	+0.2%	—	—	+0.2%
	(前年比)	+0.7%	+0.8%	+0.7%~+1.4%	+0.8%
5月15日 (水)					
5月16日 (木)	8:50 1-3月期GDP1次速報				
	実質GDP成長率(前期比)	▲0.4%	▲0.4%	▲0.8%~▲0.1%	+0.1%
	(同率)	▲1.4%	▲1.5%	▲3.3%~▲0.3%	+0.4%
	名目GDP成長率(前期比)	+0.1%	+0.1%	▲0.8%~+0.4%	+0.5%
	GDPデフレーター(前年比)	+3.3%	+3.3%	+2.7%~+3.7%	+3.9%
	13:30 3月商業動態統計・確報				
	小売業販売額(前年比)	—	—	—	+1.2%
	13:30 3月鉱工業指数・確報				
	鉱工業生産指数(前月比)	—	—	—	+3.8%
5月17日 (金)					

(注) 市場予測・レンジは Bloomberg、日経 QUICK 調査をベースに作成



**1-3月期GDP 1次速報・実質GDP成長率** 当社予想：前期比年率▲1.4% 中央値：同▲1.5%

実質GDP成長率を前期比年率▲1.4%（前期比▲0.4%）と予測する。認証不正問題に伴って生じた自動車的大幅減産が下押しになるだろう。自動車販売台数の落ち込みによる個人消費の減少、輸送機器関連投資の減少に伴う設備投資の下押し、自動車輸出の落ち込み等、幅広い需要項目に悪影響が及んだ。加えて、23年10-12月期のGDPを一時的に押し上げたサービス輸出で大口要因の剥落が生じたことも成長率の押し下げ要因となっている。23年10-12月期の実質GDPが前期比年率+0.4%の低成長にとどまった後にもかかわらず24年1-3月期はマイナス成長が濃厚であり、日本経済が足踏み状態にあることを示す結果になると思われる。

（シニアエグゼクティブエコノミスト：新家 義貴）

**4月企業物価指数・国内企業物価** 当社予想：前年比+0.7% 中央値：同+0.8%

4月の国内企業物価を前年比+0.7%、前月比+0.2%と予想する。飲食料品など多くの品目で鈍化が続く一方、企業向け電気・ガス代の値上げが反映されることや、国際市況の反映が早い非鉄金属の上昇で、前年比は前月から横ばい程度の推移が続くだろう。先行きは、5月の再エネ賦課金引き上げや、6月以降の激変緩和策の縮小などが押し上げ要因となり、前年比上昇が加速する見込み。

（副主任エコノミスト：大柴 千智）

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

